

第1回 血液検査研究班研修会 アンケート内容

開催期間：2024年7月6日～7月27日（オンデマンド配信）

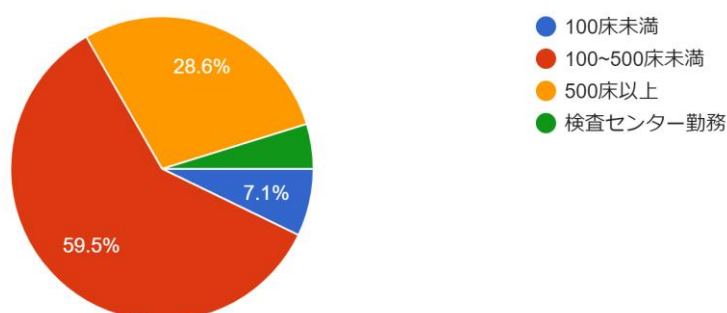
講演内容：講演1「絶対綺麗に染めてやる！ ～標本作製のピットホールを学ぼう～」

講演2「何気にむずかしくないですか？
～血液像 健常5分画 単球とリンパ球の分類中心に～」

講演3「白血球が多い原因は？ ～白血球増加時の細胞分類～」

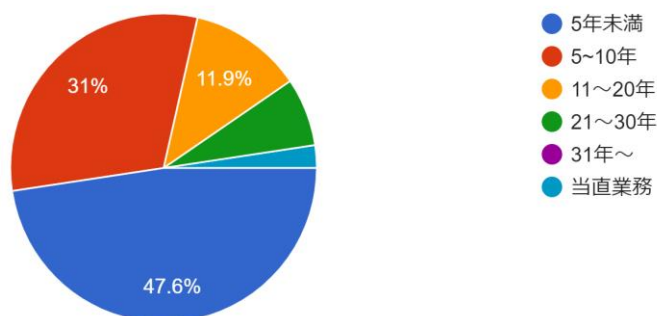
1. あなたの勤務先の病院規模はいくつですか？【必須】

42 件の回答



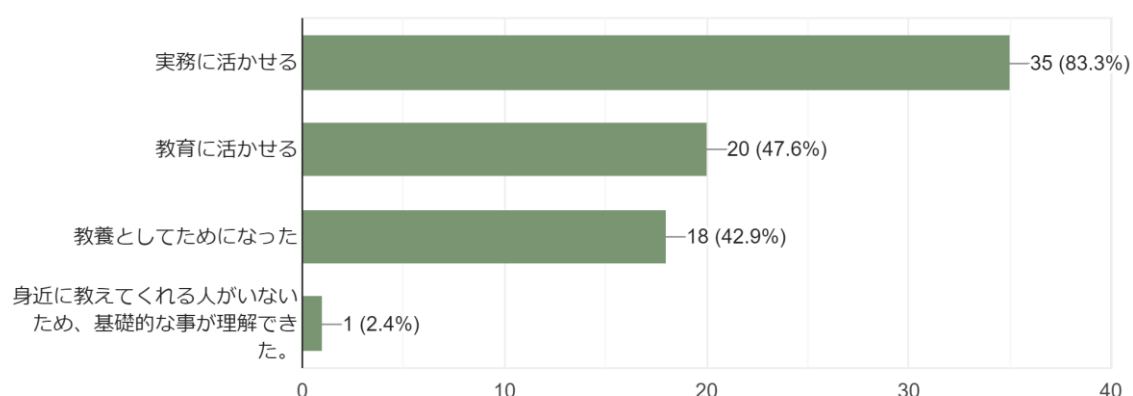
2. あなたの血液検査経験年数は何年ですか？【必須】

42 件の回答



3. 研修会内容についてどのような印象をお持ちですか？(複数回答可)【必須】

42 件の回答



上記の理由をお聞かせください

17 件の回答

基本的なものが多かったので良い確認が出来た為

最適な染色についてのポイント、目視での細胞鑑別のポイント、白血球増多での疾患による標本観察ポイント、どの講演も説明がとても丁寧で理解しやすかったです。

基礎内容の中にも自分自身に定着していない知識があり、当たり前を増やすことができた。

新しく業務を行うにあたり、基礎を理解していることは重要だと思います。

勉強になったため

標本作成に関して深く考えて染めることがなく、今回の内容は改めて良い標本を作製するための原理や知識を学べた。

経験や実例を踏まえたお話や標本が参考になった

白赤芽球症など症例問題はルーチン帯で血液像を見るのに役立つと思いましたし、染色の原理は実習生教育の時に役立てようと思いました。

実践的な内容のため

形態と疾患のポイントがわかりやすくまとめられていました

日頃から血液検査業務に関わっていないので、疑い患者を見逃さずに血液検査担当者に引き継ぎをするためにとても参考になった。

とてもわかりやすかった。

基礎から教えていただけてよかったです。

よく勉強されてる

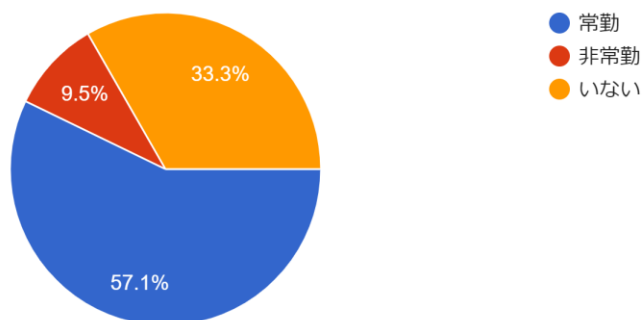
標本作成時の水分の混入や乾燥の条件など、日頃行っている業務の理由について考えるきっかけになり大変勉強になりました。

基礎を抑えることで自身の見直しにも繋がり、後輩の教育時にも活かせるため

まだ勤務年数が浅いため、実務で活かせる点多かったから

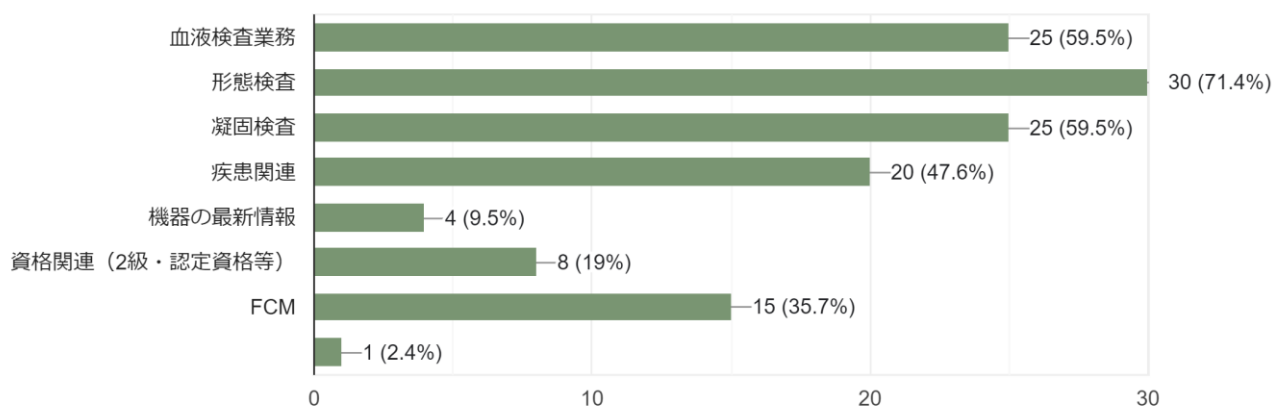
4.ご施設に血液内科を専門とされている医師は勤務されておりますか？【必須】

42 件の回答



5.今後の血液研修会の内容について、一番関心が高いものはなんですか？（複数回答可）【必須】

42 件の回答



6.今後、希望する研修会のテーマ

6 件の回答

今回、仙波先生がメイギムザ染色についてご講演して頂いたのですが、次回は特殊染色編の講演もして頂きたいと思いました。

症例検討、FCMについての講演があると嬉しいです。

遺伝子検査

多発性骨髄腫

フォトサーベイ的な、形態鑑別

FCMの基礎（何度聞いても難しいので・・・）

7.日常業務で困ったこと

1 件の回答

外注の凝固検査で5mlの採血管があるのですがLAは室温1500G15分、t-PAは冷却3000rpm10分で合っているのでしょうか。他の凝固関連検査は全て室温3000rpm10分です。皆様のご施設の運用状況を教えていただきたいです。

8.血液検査研究班になにかご意見ございますか？

6 件の回答

仙波先生の講演でメイ希釈液は初めて聞いたので当院でも試してみたいと思いました。あと骨髓検査をされているご施設に質問ですが、骨髓塗抹後、冷風で乾燥する際どのくらいの時間でおこなっているか知りたいです。

皆様お忙しい中、研修会を開催してくださりありがとうございます。毎回勉強させていただいてます。今後の研修会も楽しみにしております。

大変有意義な講習をありがとうございました。今回のようなオンデマンド研修は勤務外に繰り返し学習できるため大変有難い講習でした。また、このような機会がありましたら、是非拝見させていただきたく思います。

動画配信の研修会は参加しやすいので助かります。今後も続けてほしいです。

大変ためになる講義ありがとうございました。講義1の標本作成で質問があります。染色の手順の中で、ギムザ染色をした後にリン酸バッファーで数秒洗ってから水洗しているようでしたが、水道水で水洗する前にリン酸バッファーを挟むのはなぜですか？何か染色性により影響があるのでしょうか？

塗抹標本について、室内湿度が塗抹染色装置内の固定液に影響することは知らなかったもので、役立ちました。染色最後の洗浄にPBSを使用されていましたが、PBSの効果はどういったものなのでしょうか。